

農山漁村エネルギーマネジメントシステム (VEMS : Village Energy Management System)に関する学会セッションを開催しました (9月7日)

資源利用研究領域地域資源利用・管理グループ
土屋 遼太

農村工学研究部門では2021年度から2022年度にNEDO先導研究プログラム「農山漁村地域のRE100に資するVEMSの開発」を代表機関として受託し、企業、大学、国研を含めた9機関で取り組んでまいりました。本研究では、農村に潤沢に存在する再生可能エネルギー資源（小水力、太陽光、バイオガス発電、農業用水路の流水熱、地中熱、地下水熱など）の利用を地域でマネジメントするための技術開発を行いました。

本プロジェクトの成果報告と社会実装に向けた議論をすすめるため、9月7日に農業環境工学関連学会2023年合同大会（開催期間：9月4日～9月8日、開催場所：茨城県つくば市）においてセッションを企画・開催いたしました（オーガナイザー：地域資源利用・管理グループ長 石井雅久、同グループ研究員 土屋遼太）。

当日は、ほぼ満席のなか4つの研究報告と対象地域のひとつである那須塩原市での脱炭素化に関する取り組みに関する講演の後、研究者や行政関係者、地域新電力関係者を交え、今後のVEMS技術開発、社会実装に向けた議論を行いました。

ご多忙のところ本オーガナイズドセッションにご参加いただいた皆様、ありがとうございました。農村工学研究部門では、引き続き本技術の社会実装のため研究開発や関係機関・団体との議論をすすめて参ります。

講演タイトルと発表者（当日講演者に○がついています）の一覧：

日本の脱炭素社会に向けた農山漁村エネルギーマネジメントシステム (VEMS) の開発と技術的展望

発表者：○石井雅久、土屋遼太、森山英樹、遠藤和子、唐崎卓也、中村真人、後藤眞宏（農研機構・農工研）

農山漁村におけるエネルギー需要の特性

発表者：○唐崎卓也、芦田敏文、藤井清佳、渡邊真由美、遠藤和子（農研機構・農工研）

農山漁村向けエネルギーマネジメントシステム (VEMS) のシミュレータ開発

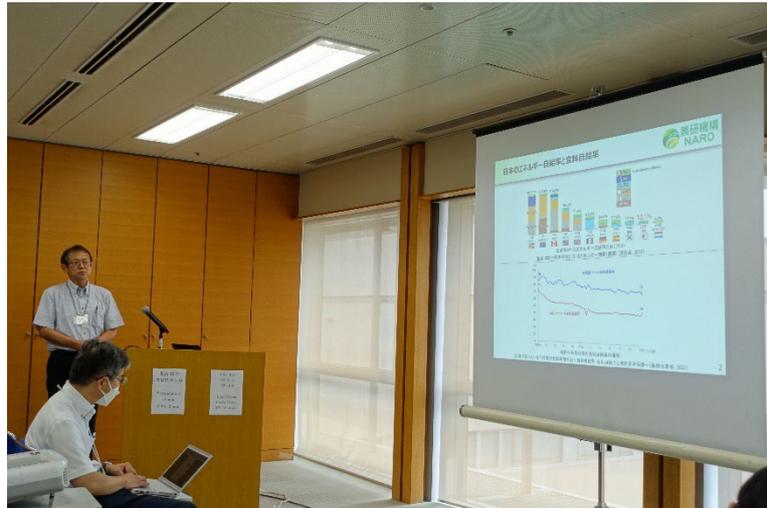
発表者：○中島理、平野秀明、野中美緒、北村聖一、森一之（三菱電機）、合田忠弘、大谷謙仁（産総研）

営農型太陽光発電施設の発電ポテンシャル

発表者：○竹内大将、藤谷拓也、馬上丈司（千葉エコ）

那須塩原市におけるカーボンニュートラルへ向けた取組

発表者：相樂尚志、○柏原智幸、平山遼（那須塩原市気候変動対策課）



石井雅久グループ長の講演



唐崎卓也上級研究員の講演